

地域の移動資源を活用した輸送システム構築

背景

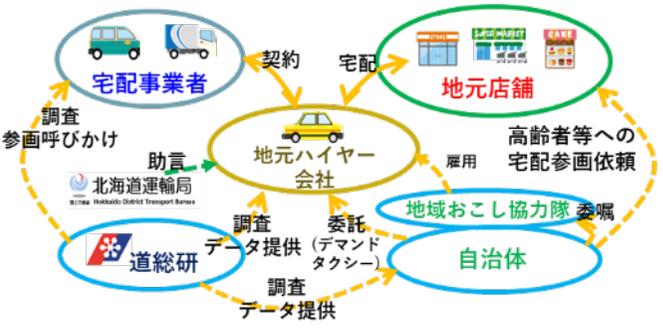
地域の交通・物流が単独事業では成立しなくなっており
地域移動資源を組合せた新たな輸送システムが必要。

成果



統合型輸送システム概念図

1 新たな輸送システムの実施体制構築



地域移動資源の分析、収支評価等に基づき
地元ハイヤー会社を核としたヒト・モノ統合型輸送システムの実施体制を構築

期待される効果

地域運営組織による新たな輸送システムの構築手順を示し、それを自治体や地域住民が活用することで
持続可能な地域社会の実現に寄与する。

2 統合型輸送システムの運用開始



R3年7月より順次運用を開始
効果検証のためのデータを収集中

3 システムの構築プロセスを整理

項目	調査項目
1. 収支評価	(1) 物流量の把握
	(2) 事業収入の予測
	(3) 事業支出の予測
	(4) 分析
2. 実施体制評価	(1) 配達を担う主体把握
	(2) 仕事量分析
	(3) 分析
3. 検証	(1) 実証
	(2) 収支評価
	(3) 仕事量評価

他地域での活用も念頭に、システム構築プロセスを実践ガイドの形で整理